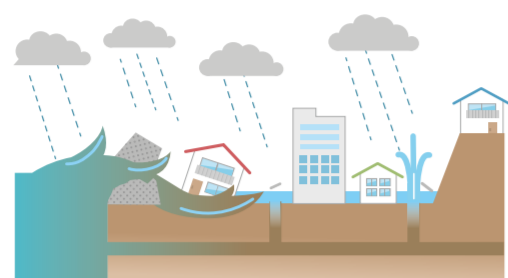


災害発生の仕組みを知る

災害はなぜ発生するのでしょうか。「洪水・内水」「土石流」発生の仕組みを知りましょう。

洪水・内水

大雨が続き、河川が氾濫したり、下水管や排水管が雨水を排水できる能力を超えたりして浸水する現象です。



平成26年8月豪雨(安佐南区緑井)

土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象です。広島市の多くは、崩れやすい地質(真砂土)であるため、土石流は特に発生しやすいです。



平成30年7月豪雨(安芸区矢野東)

広島市豪雨災害伝承館で、教訓を学ぶ

広島市豪雨災害伝承館では、平成26年8月豪雨による災害を始めとする自然災害から得られた教訓の語り継ぎなどから、防災・減災を学ぶことができます。



施設の展示スペースでは、土石流を再現したCG映像や被災者のインタビュー映像をはじめ、被害や復旧・復興の様子などのパネルを見学することができます。



施設の研修室では、様々な防災・減災学習メニューを選択でき、屋外ではかまどベンチを活用した炊き出し訓練などの体験学習ができます。



広島市豪雨災害伝承館

「あのつらい思いを子や孫たち、そしてすべての人々に二度と経験してほしくない」
「またもし次の災害が起きても犠牲者が一人も出さず、被害が最小限にとどまるように」…施設運営を担う被災者の想いです。



地域の身近な災害の危険性を見る

避難情報は、危険区域を対象に発令します。災害から身を守るため「わがまち防災マップ」などで地域の危険箇所や避難所などをあらかじめ確認しましょう。



過去の災害発生場所をまち歩きで確認

わがまち防災マップ 活用しよう!

自主防災会の皆さまが、土砂災害警戒区域などの危険情報に加え、地域の危険箇所や避難所など、ハザードマップにはない地域独自の情報を盛り込んだ防災マップです。「わがまち防災マップ」は、各区役所の地域起こし推進課窓口で配布しておりますが、配布場所や配布条件を定めている場合があります。配布を希望される方は、事前にご相談ください。また、一部は、広島市ホームページでも公開しており、ご確認いただけます。



研修会でマップの内容を再確認

ひろしま避難誘導アプリ「避難所へGo!」をダウンロードしましょう!!

現在地に避難情報が発令されると、GPSを利用して、最寄りの開設避難所までのルートを表示します。観光で広島に来られている方、通勤通学で広島に通っている人など、誰でも簡単に使うことができます。



水害碑も確認できる



危険区域は変更されることがありますので、適宜、「わがまち防災マップ」も更新しましょう。また、更新にあわせて、防災訓練などを実施される際に、市補助金を活用できる場合があります。詳しくは、各区地域起こし推進課にご相談ください。